

大橋ジャンクション屋上公園基本設計

首都高速道路株式会社 東京建設局 設計グループ 正会員 ○和田 新  
目黒区 みどり公園課 公園事業推進担当 清水 誠  
首都高速道路株式会社 東京建設局 大橋建設グループ 正会員 山崎 俊樹  
株式会社創建 空間デザイン部 小林 新

1．はじめに

首都高速中央環状新宿線の大橋ジャンクション(図-1 以下 JCT) は、東京都を施行者とする第二種市街地再開発事業と一体的に施行されており、再開発に伴うまちづくりを行う目黒区と三者で連携して事業を進めてきた。

大橋 JCT 屋上公園は、JCT という道路構造物の上部空間を有効活用し、都心の環境改善に大きく寄与するシンボリックな交流の場として、地域の活性化を実現する極めて特殊な立体都市公園である。

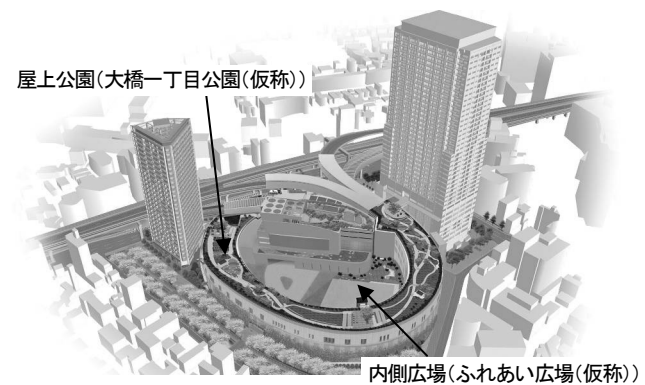


図-1 大橋 JCT 概要図

2．屋上公園および内側広場の概要

平成 20 年 6 月に目黒区により大橋 JCT 上部空間等の利用計画が決定され、同年 12 月に「大橋公園（仮称）等基本構想」が策定された。なお、JCT 屋上公園は、平成 16 年に良好な都市環境の形成を図るために創設された立体都市公園制度を適用している。整備概要を表-1 に示す。

表-1 公園整備の概要

| 概 要               | 大橋一丁目公園<br>(仮称)                                     | ふれあい広場<br>(仮称)         |
|-------------------|-----------------------------------------------------|------------------------|
| 1) 所在地            | 目黒区大橋一丁目 9 番先                                       |                        |
| 2) 面積             | 約 7,000 m <sup>2</sup>                              | 約 3,000 m <sup>2</sup> |
| 3) 位置づけ           | 都市公園法に基づく立体都市公園                                     | 要綱 に基づくふれあい広場          |
| 4) 立地条件<br>(道路区域) | 道路構造物の屋上<br>・高低差 約 24m<br>・幅 約 16～24m<br>・縦断勾配 約 6% | 道路構造物に囲まれている内部空間       |

目黒区ふれあい広場の設置及び管理に関する要綱

3．公園整備の基本構想

公園の基本的な考え方と必要な機能について、表-2 に示す。

表-2 公園の基本的な考え方

| 場所              | 基本的な考え方                      | 必要な機能           |
|-----------------|------------------------------|-----------------|
| 大橋一丁目公園<br>(仮称) | (1) 地域の景観・環境に配慮した特色ある公園空間の創出 | みどり、環境、シンボルなど   |
|                 | (2) みどり豊かな潤いある屋上緑化の創出        | みどり、潤い、自然性、鑑賞など |
|                 | (3) 誰もが利活用できる潤いの空間の創出        | 憩い、交流、休憩、散策など   |
| ふれあい広場<br>(仮称)  | (1) 誰もが気軽に立ち寄り利用できる広場空間      | 運動、遊び、健康、交流など   |
|                 | (2) 地域のイベント等にも利用できる多目的な広場空間  |                 |

4．公園のゾーニング

屋上公園については、動線計画や、屋上の構造特性等を考慮し、4 つのゾーンに分割して、それぞれのエリアに必要な 3 種類の機能、施設等を整理した。図-2 に公園のゾーニング、表-3 に各ゾーンの考え方を示す。

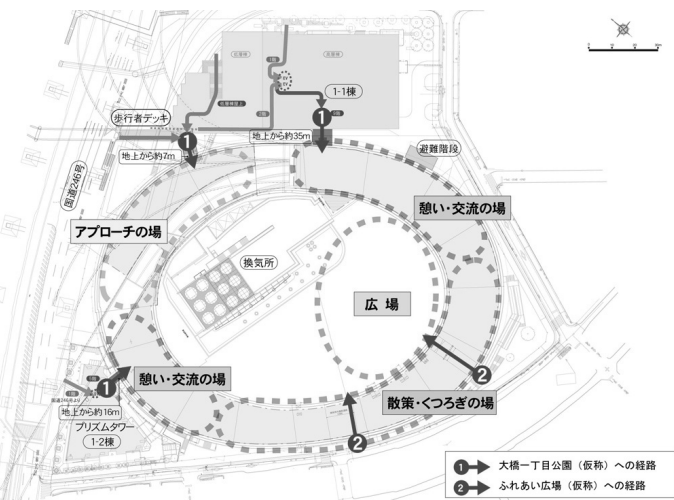


図-2 公園のゾーニング図

表-3 各ゾーンの考え方

| ゾーン           | 考え方                                                                                                                                     |
|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 憩い・交流<br>の場   | 公共公益施設への来訪者をはじめとして、多くの住民が気軽に立ち寄れる場とする。<br>特色ある植栽や花壇等により、子供から高齢者までの誰もが憩い交流出来る場とする。                                                       |
| 散策・くつろぎ<br>の場 | 草花などが鑑賞できるみどりの創出を図り、季節感の感じられる快適な空間とする。<br>立地特性を活かし、歩いて楽しい歩行空間の場とする。<br>周辺の住環境に配慮しつつ、安全で安心して景観を楽しめる施設配置とする。<br>利用者が散策や休憩などでくつろげる空間の場とする。 |
| アプローチ<br>の場   | 憩い・交流の場まで、安全で安心して歩行できる園路空間とする。                                                                                                          |

## 5. 公園の設計コンセプト

基本構想におけるゾーニングや考え方を踏まえ、具体的な公園や広場を設計（意匠を含む）するためには、表-4 のような地域特性や構造特性を踏まえた明確なコンセプトが必要となる。屋上公園及び内側広場の設計コンセプトを表-5 に示す。

表-4 地域特性及び構造特性

| 場所   | 特性                                       |
|------|------------------------------------------|
| 地域   | 渋谷(都心)に近い都会的な住居地域<br>目黒川沿いの自然あふれる空間      |
| 屋上   | ループ状の形状<br>連続して勾配を持つ斜面が基盤<br>地上より高い位置に存在 |
| 内側広場 | JCT躯体に囲まれた中庭的空間<br>平坦で広い空間               |

表-5 設計コンセプト

| 屋上公園 | 整備イメージ | 目黒天空の庭              |                                       |
|------|--------|---------------------|---------------------------------------|
|      | コンセプト1 | 回遊・発見する天空の庭         | 勾配のあるループ状の空間を活かし、散策して楽しめる回遊式の庭園とする。   |
|      | コンセプト2 | みどり豊かな潤いある屋上庭園      | 周辺のみどりと調和したみどり豊かな潤いある屋上庭園とする。         |
|      | コンセプト3 | 和みの空間づくり            | 安全・安心な、何度でも訪れたい心地良い「和み」の空間とする。        |
| 内側広場 | 整備イメージ | 大橋交流ひろば             |                                       |
|      | コンセプト1 | 快適な広場空間づくり          | 安全・安心な広場とし、四季を通じた環境に対応できる快適な広場空間とする。  |
|      | コンセプト2 | 交流が活発化する多目的な広場空間づくり | 地域のイベントや、住民等のふれあい、スポーツ等レクリエーションの場とする。 |

## 6. 屋上公園の検討手法

公園の検討にあたり、園路線形を当初に検討する必要があった。屋上公園については、JCT 躯体が6%程度の縦断勾配を有しているが、「都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン」(国土交通省)で縦断勾配を5%以下とすることが定められているため、園路の検討は、勾配を減少させるために園路延長を増やすこと、JCT 躯体からの離隔(人工地盤の盛り土厚)を考慮、広場等他設備との取り扱い等を考慮しながら行った。

特殊な構造特性を持つ屋上公園として、特に配慮した検討項目は、表-6 の通りである。

表-6 屋上公園特有の検討項目

| 検討項目 | 検討概要          | 必要な施設    |
|------|---------------|----------|
| 園路勾配 | 園路を5%以下とする    | つづら折の園路等 |
| 転落防止 | 屋上からの転落防止対策   | 外周部の柵    |
| 防風対策 | 屋上の強風対策       | 防風植栽     |
| 雨水貯留 | 雨水の一時貯留       | 屋上貯留槽    |
| 避難経路 | 屋上発災時の避難手段の確保 | 避難階段等    |

## 7. 検討内容の検証

検討結果については、大橋 JCT を中心とした半径 500m の範囲の町会、自治会等を中心にメンバー構成されている公園づくり検討会にて、目黒区みどりと公園課が事務局となり検討内容を議論し、PI による合意形成を図った。

また基本となる公園レイアウトについて、VE 手法を用いて論理的説明性を確保し、より高い機能を有した公園レイアウトへの改善を、同時進行で行った。

## 8. 基本設計の成果と今後の方針

上記の成果である基本設計レイアウトを図-3 に示す。この基本設計成果にて平成 21 年 9 月に住民説明会を行い、同年 10 月に基本設計の策定を終え、現在大橋地区の街開きが予定されている平成 24 年度の開園に向けて実施設計中である。

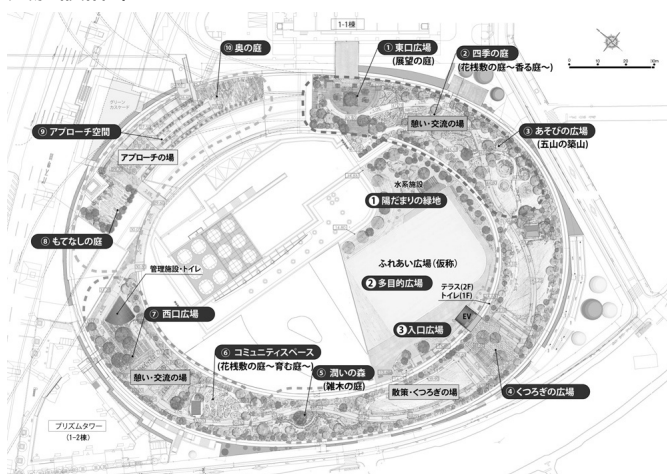


図-3 基本設計レイアウト